

まちのうごき

(1月1日現在)	(12月中)	
世帯数 17,170世帯	生まれた人 59人	
人口 53,444人	亡くなった人 21人	
男 26,293人	転入した人 165人	
女 27,151人	転出した人 186人	

広報 向日市

No.446

平成元年2月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

住みよい生活環境の整備 総合雨水排除計画

雨水排水整備と浸水防除へ万全

市ではこのほど、合理的で効果的な雨水排水の整備と浸水区域の解消を図るため策定した、「総合雨水排水排除計画」事業を、京都府の承認を受けスタートさせました。完成は平成17年度の予定です。この事業は、「住みよい生活環境の整備」の一環として、事業を展開するものです。

向日市全域を 公共下水道 排水区域に

この事業計画は、従来都市下水道であった石田川・寺戸川などを、公共下水道の雨水計画幹線として位置づけ、向日市全域(800ha)を公共下水道排水区域とするものです。分流方式をとる本市の下水道は、昭和49年から着々と整備し、本年度で14年目を迎え、整備面積228ha、整備区域人口23964人となっています。また、雨水についても、

西ノ岡中・第4向陽小に 地下調整池

主な事業の内容は、市内を次の3区域に分割し、排水区域を①寺戸川排水区 ②石田川・和井川排水区 ③水垂川排水区

排水区域の広い寺戸川排水区には、貯留施設として、西ノ岡中、第4向陽小学校のグラウンド地下に、それぞれ8800トン、18800トンの調整池を建設し、雨水を貯留し、下流への流量を調整するようにしています。また、石田川・和井川排水区では、和井川中央雨水調整管(幅6m×高さ5.5m×長さ1470m貯留量48500トン)の

昭和38年度から石田川流域、47年度から寺戸川流域で、浸水防除のため、都市下水道の整備を進めてきました。しかし、本市及び上流地域の急激な市街化のため、雨水流出量が増大し、都市下水路が整備された区域でも、大雨時には浸水のおそれが見られるようになってきました。そこで、包括的な雨水排水計画としました。



下水道メモ

- 分流式 ■汚水と雨水とを、それぞれ別の管きよで排除する方式
- 管きよ ■暗きよ及び開きよの総称
- 排水区域 ■雨水を排水する区域
- 吐口 ■雨水などを公共用水域に放流する放流口の施設



調整池が埋設される第4向小グラウンド